



浜北医師会会報 (第499号)

発行：一般社団法人浜松市浜北医師会

令和7年11月15日

目次

I：行事（予定）

II：理事会報告

III：委員会報告



早く美味しくなあれ

枝についたキウイをいただきました。追熟するには、リンゴと一緒に袋に入れて・・・

石井るみ子 画

I：行事（予定）

11月	5日	定例理事会	於：医師会会議室
	13日	地域寮支援協議会	於：浜松医療センター
	13日	ケアマネ研修会	於：医師会会議室
	15日	医師会忘年会	於：ホテルラウンパレス浜松
	19日	勉強会 「エビデンスに基づいた 不眠症に対する薬物治療」	於：ハイブリッド方式
	25日	外来感染対策向上加算訓練	於：浜松赤十字病院
	26日	医師信用組合理事会	於：県医師会館
	26日	開業相談委員会	於：医師会会議室
	27日	浜名区協議会	於：なゆた浜北
	29日	市民公開講座	於：プラザホテル
	30日	赤ちゃんフォトコンテスト	於：プレ葉ウォーク浜北
12月	3日	定例理事会	於：医師会会議室

Ⅱ：理事会報告

日 時 令和7年11月5日（水）午後7時30分～午後9時03分

場 所 医師会会議室

出席者 岸本 肇会長 杉本昌宏副会長 坂尾幸俊理事 桜町俊二理事 大嶋正浩理事

廣 建志理事 俵原 敬理事 近藤りえ子理事 池谷真苗監事

オブザーバー 高倉英博県理事

1. 会長 あいさつ

定款第37条第2項の規定により岸本会長が招集し、岸本会長が議長となった。

2. 協議事項

（1）令和8年度幼児集団健康診査の診察協力に係る日程調整について、浜松市健康づくりセンター坂本所長、浅風グループ長から説明があった。事業の内容は例年どおりで、協力の調査票を早急に会員に送付し、11月21日（金）を締切として集約するとのことであった。協議の結果、了承した。

（2）共催名義の使用許可について、岸本会長から説明があった。

後援名義の許可申請について以下のとおり申請があり、協議の結果了承した。

① 後援名義：2026年1月28日（水）19:30～20:30

会 場 ：ハイブリッド方式

演 題 ：「心腎連関を考慮した慢性腎臓病における SGLT2 阻害薬の意義」

講 師 ：名古屋市立大学大学院医学研究科 腎臓内科学 教授 濱野 高行 先生

申請者 ：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

（3）校医の基準について、廣理事から説明があった。現在、原則 A 会員に依頼をしているところ、足りない場合には診療所の B 会員にも校医を依頼していくこととした。

（4）校医の選任について、廣理事から説明があった。来年度の校医・園医の配置について協議の結果、次のとおりとすることとした。

【内科等】

- ・浜名小学校 ：金子重久 → 金子 望
- ・赤佐小学校 ：杉山榮治 → 清水賢司
- ・内野小学校 ：田所 茂 → 金城健一
- ・北浜北幼稚園：杉山榮治 → 長橋ことみ

【眼科】

- ・内野小学校 ：鈴木 敬 → 内山真也
- ・亀玉中学校 ：内山真也 → 鈴木 敬

- (5) 事務局の職制について、岸本会長から説明があった。協議の結果、職制について下記のとおりとすることとした。

現職制	新職制
事務長	事務局長
主任	事務局次長
副主任	在宅医療推進担当

- (6) 災害時の体制について、廣理事から説明があった。協議の結果、以下のとおりとすることとした。

①役員の参集について、通信機器が使用できない場合も想定し、発災直後、全役員（理事・監事）が日赤に参集する。

②会員への周知について、災害時の救護活動は会員の協力が必要なため、下記のとおり周知することとした。

発災直後会員の先生にお願いすること

1. 浜松市から安否確認システムメールが送られてくるので、回答する
2. 回答を終えたら、医師会から要請メールが来るまで待機
(持ち物準備：ベスト・ヘルメット・飲み物・診療に必要なもの・筆記用具等)
3. 要請メールがきたら、必要なものを持って日赤2階研修ホールに行く
4. 浜名区内（浜北）の救護所は浜松赤十字病院です。
＜救護所＞トリアージ 2名・診療 2名・処置 2名
※各地区の救護所は、必要に応じて開設いたします。

※応急救護所のトリアージはSTART法で行います。

会員の先生方の診療・処置は緑ブースの患者のみです。

(トリアージで黄・赤タグの患者は浜松赤十字病院内に搬送します)

参集については、安否確認システムの指示に従ってください。

～会員の先生方の回答がたいへん重要になります。回答への協力お願いいたします～

- ③駐車場について、日赤周辺は災害時に渋滞が予想されるため、参集医師の駐車場を確保するため、事前に日赤周辺の医療機関に災害時の駐車許可を取ることとした。
なお、各医療機関へ「駐車許可車両」と記載したラミネートを配布することとした。

3. その他

- (1) 浜松市のでんかん児童の水泳指導参加の対応について、報告があった。

4. 報告事項

岸本 肇 会長

10月	1日	中間監査	医師会会議室
	1日	定例理事会	医師会会議室
4-5日		医師会旅行	箱根
13日		診療所を対象とした新興感染症対策リーダー研修	日本医師会
15日		勉強会「COVID-19 対策のこれまでと、これから」	ハイブリッド方式
23日		災害研修会	ハイブリッド方式
11月	5日	定例理事会	医師会会議室

杉本 昌宏 副会長

10月	1日	中間監査	医師会会議室
	1日	定例理事会	医師会会議室
4-5日		医師会旅行	箱根
23日		災害研修会	ハイブリッド方式
26日		令和7年度総合防災訓練	浜松赤十字病院
11月	5日	定例理事会	医師会会議室

坂尾 幸俊 理事

10月次収支報告

当月収入総額	37,029,341 円
当月支出総額	37,121,921 円
収支差額	-92,580 円

10月	1日	中間監査	医師会会議室
	1日	定例理事会	医師会会議室
4-5日		医師会旅行	箱根
15日		勉強会「COVID-19 対策のこれまでと、これから」	ハイブリッド方式
23日		災害研修会	ハイブリッド方式
26日		令和7年度総合防災訓練	浜松赤十字病院
11月	5日	定例理事会	医師会会議室

櫻町 俊二 理事

10月	1日	定例理事会	医師会会議室
	15日	勉強会「COVID-19 対策のこれまでと、これから」	ハイブリッド方式
	23日	災害研修会	ハイブリッド方式
	26日	令和7年度総合防災訓練	浜松赤十字病院
11月	5日	聖隷浜松病院 地域医療支援病院会議	聖隷浜松病院
	5日	定例理事会	医師会会議室

大嶋 正浩 理事

10月	1日	定例理事会	医師会会議室
	15日	勉強会「COVID-19 対策のこれまでと、これから」	ハイブリッド方式
11月	5日	定例理事会	医師会会議室

廣 建志 理事

10月	1日	定例理事会	医師会会議室
	4－5日	医師会旅行	箱根
	7日	医療救護対策委員会	オンライン会議
	15日	勉強会「COVID-19 対策のこれまでと、これから」	ハイブリッド方式
	16日	MC推進者会合	浜松市消防局
	23日	災害研修会	ハイブリッド方式
	26日	令和7年度総合防災訓練	浜松赤十字病院
11月	5日	定例理事会	医師会会議室

俵原 敬 理事

10月	1日	定例理事会	医師会会議室
	15日	勉強会「COVID-19 対策のこれまでと、これから」	ハイブリッド方式
11月	5日	定例理事会	医師会会議室

近藤 りえ子 理事

10月	1日	定例理事会	医師会会議室
	23日	災害研修会	ハイブリッド方式
11月	5日	定例理事会	医師会会議室

次回会議の予定 定例理事会 令和7年12月3日(水) 午後7時30分 於：医師会会議室

以上の議事を終了し、午後9時3分閉会した。

会務報告

	内 容	会場・開催方式	出席者（敬称略）
10月 1日	会計中間監査	医師会会議室	両監事、三役
1日	定例理事会	医師会会議室	理事、両監事、高倉
4-5日	医師会旅行	箱根	会員
7日	医療救護対策委員会	オンライン会議	廣
13日	診療所を対象とした 新興感染症対策リーダー研修	日本医師会	岸本
15日	勉強会「COVID-19 対策のこれまでと、 これから」	ハイブリッド方式	会員
16日	浜名区協議会	なゆた浜北	中川
16日	MC 推進者会合	浜松市消防局	廣
22日	医師信用組合理事会	県医師会	高倉
23日	災害研修会	ハイブリッド方式	会員
26日	令和7年度総合防災訓練	浜松赤十字病院	廣、杉本、坂尾、櫻 町、金城
11月 5日	聖隷浜松病院 地域医療支援病院会議	聖隷浜松病院	櫻町
11月 5日	定例理事会	医師会会議室	理事、池谷監事、 高倉

Ⅲ：委員会報告

認知症施策推進委員会開催状況報告書

浜松市浜北医師会会長 岸本 肇 様

報告日 令和7年9月10日

報告者 県認知症サポート医リーダー連絡会世話人 大村久美子

認知症施策推進理委員会を開催いたしましたので、その状況を下記のとおり報告いたします。

開催日時	令和7年9月10日（水） 19時30分～21時00分
場 所	浜松市浜北医師会会議室
出席者	別紙のとおり
協議事項とその結果	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 認知症サポート医から 認知症患者を診療する上での課題や困難点など</p> <ul style="list-style-type: none">・外来に通えない、受診拒否をしているなどで訪問診療を依頼されることがある・被害妄想がひどく、診療ができないケースもある・認知症と精神障害の判別が難しい場合がある・認知症の診察は時間がかかるため、地域でのサービスが一覧としてあればその情報を渡し、適切につなげることができる <p>(2) 地域包括支援センターから 地域で認知症の方を支援する立場からの課題や困難点など</p> <ul style="list-style-type: none">・独居、家族がいない人の対応に苦慮する。認知症の人が運転して事故をした・ボヤ騒ぎ、金銭管理ができないなどがあっても本人の病識が薄く、支援者のみが困難感を感じる・重症化してからわかるケースが多く、サービス導入が遅れてしまう・精神なのかアルコール依存なのか認知症なのか分からず支援が困難・本人よりも家族の認知症への理解不足。認知症であることの受容が難しい・家族からのDV、認知症の妻（母）へ夫、息子からの暴力は8～9割あるのでは →ディサービス等での発見や本人（夫・息子）申告もあり・介護する家族へのアシスト不足 →認知症カフェ、家族会など地域資源が医師側に周知されていない <p>(3) 今年度の取組内容について</p> <ul style="list-style-type: none">・昨年度開催した地区社協との連携研修会が好評だったため、今年度も同様の研修会を開催・認知症家族（介護者）への支援をテーマに、地域の資源を共有し、連携を深める・地域の資源（認知症カフェ、家族会、地域包括支援センターの紹介）は、医師会ホームページ、会報、MCSなどで情報提供していく

浜松市浜北医師会 認知症施策推進委員会 出席者名簿

日時 9月10日（水）19：30～21：00

場所 浜松市浜北医師会会議室

役職	氏名	医療機関名
会長	岸本 肇	岸本内科クリニック
副会長	杉本昌宏	北斗わかば病院
世話人	大村久美子	浜北さくら台病院
認知症サポート医	清水賢司	ひかり在宅医療クリニック浜北院
認知症サポート医	最上秀夫	もがみ内科クリニック

地域包括支援センター

役職	氏名	所属
社会福祉士	水野彩美	地域包括支援センターしんぱら
社会福祉士	佐宗秀平	地域包括支援センター北浜
社会福祉士	平野知里	地域包括支援センター於呂

行政

役職	氏名	所属
医療・介護推進担当課長	竹村和枝	浜松市高齢者福祉課
認知症施策推進グループ長	小椋史織	浜松市高齢者福祉課

事務局

大塚 信、川合貴子

産業保健労災診療委員会開催状況報告書

浜松市浜北医師会長 岸本 肇 様

委員会を開催いたしましたので、その状況を下記のとおり報告いたします。

開催日時		令和 7 年 9 月 2 6 日 (金) 19 時 30 分～19 時 50 分
場 所		浜松市浜北医師会 会議室
出席者	委員長	平野 恭弘
	委 員	坂尾幸俊、横田直也、櫻町俊二
	事務局	大塚 信、山本典子
協議事項とその結果	<p>令和 7 年度 産業医計画 静岡県下にて単位が振り分けられ、当医師会は今年度 2 単位開催 ～議 事～</p> <p>(1) 単位・日程 2 単位×1 日</p> <p>(2) 講師・内容について</p> <p>【第一希望】 講師：ヤマハ発動機（株）安全健康推進部健康推進グループ統括産業医 内野文吾 先生 内容：外国人労働者の健康管理</p> <p>【第二希望】 講師：神経科浜松病院 山岡功一 先生 内容：うつ病経過中の休職、復職を考える</p> <p>【第三希望】 講師：ヤマハ(株)健康管理センター 静岡産業保健総合支援センター相談員 山本 誠 先生 内容：メンタルヘルス等</p> <p>(3) 日程 令和 8 年 1 月から 2 月末日いずれかの金曜日</p> <p>(4) 会場 浜松市浜北医師会 会議室</p> <p>(5) 基礎・生涯研修の内容 測定や実務的研修を兼ね【実地】を講師にお願いする。</p>	

追 悼

大石山先生（元大石医院院長）が令和 7 年 5 月 1 7 日にご逝去されました
（満 8 7 歳）

大石山先生の永年のご活躍に敬意を表するとともに

ご冥福をお祈り申し上げます



◇がん検診二次読影委員会

(結核肺がん検診)

10月	10日(金)	於：浜北医師会読影室	白井
	14日(火)	於：浜北医師会読影室	岸本(祐)
	22日(水)	於：浜北医師会読影室	佐藤(浜松赤十字病院)
	24日(金)	於：浜北医師会読影室	近藤(り)
	30日(木)	於：浜北医師会読影室	井手

(胃がん検診)

10月	2日(木)	於：浜北医師会読影室	澤柳
	7日(火)	於：浜北医師会読影室	中川
	8日(水)	於：浜北医師会読影室	金子(望)
	14日(火)	於：浜北医師会読影室	吉田(賢)
	16日(木)	於：浜北医師会読影室	曾根田
	20日(月)	於：浜北医師会読影室	伊藤(浜松赤十字病院)
	23日(木)	於：浜北医師会読影室	櫻町
	27日(月)	於：浜北医師会読影室	鈴木(崇)
	28日(火)	於：浜北医師会読影室	上野山(あたご診療所)
	30日(木)	於：浜北医師会読影室	井坂(十全記念病院)

(乳がん検診)

10月	2日(木)	於：浜北医師会読影室	池谷
	16日(木)	於：浜北医師会読影室	清野
	23日(木)	於：浜北医師会読影室	朽久保(とちくぼ乳腺クリニック)
	30日(木)	於：浜北医師会読影室	三橋

◎二次読影日の変更について

二次読影は、期限内にご提出いただいた場合でも、一次読影医師と二次読影医師が重なったり、読影医師の都合により日程を変更させていただくことがあります。

お知らせ

<勉強会> 12月 は休会です。

令和8年1月21日（水）午後7時15分～9時00分

※ライブ配信（要事前申込）及び浜松市浜北医師会会議室
司会 杉本昌宏 先生

講演「認知症診療 Up date」

講師：聖隷浜松病院 認知症先進ケアセンター副センター長

脳卒中センター長 近土善行 先生

生涯教育取得単位：1.5 カリキュラムコード：29（1.5）
（共催 エーザイ株式会社）

<静岡県医師会産業医研修会 サテライト>

定員 35 名 ※要事前申込 県非会員 2 万円（県へ送金）

日 時 令和7年12月7日（日）午後1時00分～5時00分

場 所 浜松市浜北医師会会議室

演題・講師等

- 1) 13:00～15:00（基礎－後期2単位／生涯－専門2単位）
「化学物質を使用する事業所の対応（有機溶剤を例に）」
静岡産業保健総合支援センター 相談員 赤津 順一 先生
- 2) 15:00～17:00（基礎－後期2単位／生涯－更新2単位）
「産業医制度に関わる労働行政の動き」
静岡産業保健総合支援センター 相談員 西 賢一郎 先生

<市民公開講座>

はじめよう人生会議 ～あなたの未来のための話し合い～

日時 11月29日（土）14時～16時

場所 はまきたプラザホテル 2階飛鳥の間

<在宅医療多職種交流会>

日時 令和8年1月17日（土）午後2時～5時30分

場所 ビラックス高薊

内容

第一部 研修会（14：00～）

身寄りのない方の支援を考える（事例紹介及びグループワーク）

第二部 懇親会（16：00～）

★11月17日、開催通知を送付いたしました。

<医師会と地区社協との連携研修会>

～認知症サポート医交流促進事業として実施～

日時 令和8年2月7日（土）午後2時～4時

場所 ビラックス高薊

内容

認知症家族（介護者）への支援をテーマに、地域の資源を共有しよう

<三師会ゴルフコンペ>

令和7年12月14日（日）葛城 山名コース

8：06 IN スタート 4組

◇令和7年11月・12月在宅医表

月	日	日・祝	在 宅 医	
11	2	日	すこやかこころのクリニック	中川クリニック
	3	祝	たむら内科クリニック	十全記念病院
	9	日	天竜こども医院	河合クリニック
	16	日	あさぬまクリニック	高倉クリニック
	23	祝	やわたの森こどもクリニック	ことみレディースクリニック
	24	振	田所クリニック	花の木眼科
	30	日	宮口こんどうクリニック	かずえ皮膚科クリニック
12	7	日	山下クリニック	岡田整形外科
	14	日	かわい内科消化器科	キブネ眼科医院
	21	日	岸本内科クリニック	さわ消化器内視鏡クリニック
	28	日	金城こどもクリニック	おおや整形外科
	30	年末	近藤内科医院	石井第一産科婦人科クリニック
	31	年末	やわたの森こどもクリニック	十全記念病院

- ・年末年始における発熱外来（休日在宅当番医）につきましては、決定次第HPに掲載いたします。

◇令和7年10月 休・祝日時間外受診者報告

	浜松市民（人）	他市民（人）
休・祝日	290	36
時間外	127	14
計	417	50

*市へ報告する都合上、提出期限（毎月5日）は厳守してください。

◇現在の会員数 （令和7年11月1日現在）

A 会員	55名
A' 会員	13名
B 会員	55名
合計	123名

事務局からのお知らせ

◎日本医師会 FAX ニュース URL について

【日医 FAX ニュース】URL

https://www.med.or.jp/japanese/members/news/netnews/n_index.html

※閲覧には ID とパスワードが必要です。

◎「会員のひろば」について

会報内「会員のひろば」への記事掲載について、会員の皆様から広く募集しています。
写真、絵画、エッセイ、俳句・・・などなど、ぜひご投稿をお願いします。

◎非通知の着信拒否について

医師会事務局の電話について、不審者からの着信が度々あることから、「番号非通知の着信について、着信を拒否」する設定にしております。

医師会事務局に電話を掛ける際はご注意くださいようお願い申し上げます。

◎医師会事業に対する要望の募集について

会員からの意見を反映させることを目的に、医師会事業に対する要望（新規事業の提案、または中止希望の事業）を募集しております。ご提案のある方は事務局までご連絡ください。

なお、予算立案の都合上、来年度の事業に反映させるためには、原則毎年 8 月末までにご提案くださいますようお願い申し上げます。

開業相談委員会は、毎月第 4 水曜日に開催しております。

ご相談のある方は、相談日の前月の末日までに事務局までご連絡ください。

（予約制）

新規開業予定の先生は、土地購入並びに賃貸契約される前に開業相談にお越しください。

また、現在開業中の先生でも増床等をされる場合には、開業相談をお受けください。

会員のひろば

忘年会を開催しました

11月15日、ホテルクラウンパレス浜松にて浜松市浜北医師会の忘年会が開催されました。若手の先生方をはじめ、多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

開会にあたり、月花亮先生の乾杯のご発声で会がスタートし、和やかな雰囲気の中で宴が始まりました。

途中のクイズ大会では、太田達樹先生の司会で会場が大いに盛り上がり、井手協太郎先生がじゃんけんで見事優勝されました。その後、服部浩先生、鈴鹿知直先生、板倉称先生よりご挨拶をいただきました。

日赤からも多くの先生方にご出席いただき、会員同士の交流がさらに深まり、今後の病診連携がよりスムーズに進むことが期待されます。

今回の忘年会を通じ、会員同士が直接顔を合わせることで「顔の見える関係」の大切さを改めて実感するとともに、浜松市浜北医師会の団結がさらに深まり、あらためて素晴らしい医師会であることを感じました。

会の締めくくりは杉本昌宏先生の閉会のご挨拶でお開きとなりました。終了後は、若手の先生方が夜の町に元気に出かけ、にぎやかで楽しい一夜となりました。

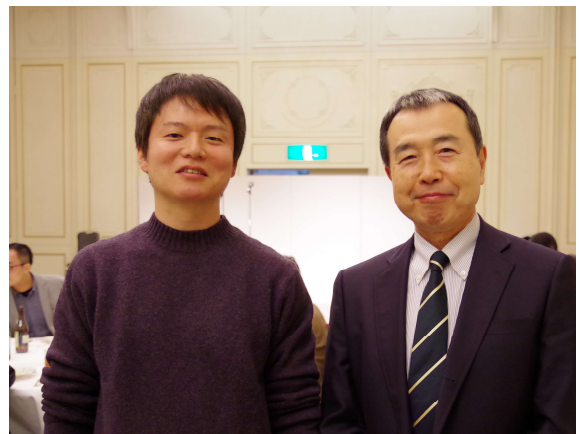
本会の運営を支えてくださった事務局の皆様には感謝申し上げます。

今後もさらに多くの先生方のご参加をお待ちしております。

浜松市浜北医師会 会長 岸本 肇







来年も、多くの先生方のご参加をお待ちしております。

地域包括支援センターしんぱらの家族教室

金子重久先生が講演されました

10月29日（水）、地域包括支援センターしんぱら主催の家族教室が亀玉協働センターで開催され、金子重久先生がご講演されました。

金子先生の講演は「心豊かに人生を過ごすために、過ごしていただくために」と題し、高齢者によくある症状や認知症の方への対応（ユマニチュード）、また、浜松市発行の人生会議手帳などの御紹介など、長野の自然豊かな写真を交え楽しくわかりやすくお話してくださいました。

会場は約30名の地域住民で一杯になり、先生のお話に熱心に耳を傾けていました。



令和7年10月分 診療状況報告

浜松赤十字病院

(1) 病床 312床 (開放型病床 50 床)

(2) 令和7年10月分診療状況

	延べ数	1日平均
入 院	6,652 人	214.6 人
外 来	7,765 人	353.0 人

(3) 開放型病院共同指導回数 (浜北医師会分)

	医師実人数	延 回 数
令和7年10月	2人	23回
令和6年10月 (前年 同月)	3人	37回

(4) 開放型病院共同指導回数 (当院実績)

	医師実人数	延 回 数
令和7年10月	2人	23回
令和6年10月 (前年 同月)	3人	37回

(5) 病診連携室取扱件数

	①紹介受付件数 診療所・病院 病院	②逆紹介(加算)件数 病院 診療所他算定	逆紹介割合 ② / ①
令和7年10月	712	681	95.6%
令和6年10月 (前年 同月)	617	739	119.8%

浜松赤十字病院ホームページ

外来担当医一覧



<http://www.hamamatsu.jrc.or.jp/guidance/outpatient202006/>

浜松市感染症発生動向調査（2025 年第 45 週）

浜松市感染症情報センター
2025年11月12日現在

浜松市感染症発生動向調査週報

2025年第45週（2025年11月3日～2025年11月9日）

インフルエンザが注意報基準値を超えてもなお増加しています。インフルエンザの報告数は15歳未満の小児が約8割を占めています。学校や保育園等で集団感染するおそれもあるため、うがい、手洗い、換気、マスクの着用など、基本的な感染対策を引き続きお願いします。
インフルエンザの予防接種も各医療機関で開始していますので、早めの接種をご検討ください。

1. 定点把握感染症

① 報告数及び流行状況

定点区分 (市内定点数)	感染症名	前週からの増減		浜松市				静岡県	警報基準値
				第45週	警報・注意報	第44週	第43週	2025年累計	
急性 呼吸器 感染症 (28)	急性呼吸器感染症(ARI)※	↓	報告数	1,851		1,963	1,445	38,121	8,577
			定点当り	66.11		70.11	51.61		61.71
	インフルエンザ	↑	報告数	522	注意報	359	178	4,907	2,036
			定点当り	18.64		12.82	6.36		14.65
	新型コロナウイルス感染症	↓	報告数	35	発令なし	48	67	3,675	277
			定点当り	1.25		1.71	2.39		1.99
小児科 (18)	RSウイルス感染症	↓	報告数	12		27	20	690	63
			定点当り	0.67		1.50	1.11		0.71
	咽頭結膜熱	↑	報告数	2	発令なし	1	2	133	14
			定点当り	0.11		0.06	0.11		0.16
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	報告数	27	発令なし	14	16	740	112
			定点当り	1.50		0.78	0.89		1.26
	感染性胃腸炎	↓	報告数	46	発令なし	71	64	4,505	210
			定点当り	2.56		3.94	3.56		2.36
	水痘	→	報告数	0	発令なし	0	2	98	13
			定点当り	0.00		0.00	0.11		0.15
	手足口病	→	報告数	0	発令なし	0	0	74	7
			定点当り	0.00		0.00	0.00		0.08
	伝染性紅斑	↓	報告数	3	発令なし	6	5	1,467	58
			定点当り	0.17		0.33	0.28		0.65
眼科 (3)	急性出血性結膜炎	→	報告数	0	発令なし	0	0	0	2
			定点当り	0.00		0.00	0.00		0.09
	流行性角結膜炎	→	報告数	1	発令なし	1	0	140	8
			定点当り	0.33		0.33	0.00		0.36
基幹 (2)	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る)	→	報告数	0		0	0	0	0
			定点当り	0.00		0.00	0.00		0.00
	クラミジア肺炎	→	報告数	0		0	0	0	0
			定点当り	0.00		0.00	0.00		0.00
	細菌性髄膜炎	→	報告数	0		0	0	1	0
			定点当り	0.00		0.00	0.00		0.00
	無菌性髄膜炎	→	報告数	0		0	0	1	3
			定点当り	0.00		0.00	0.00		0.30
	マイコプラズマ肺炎	↓	報告数	0		3	1	40	6
			定点当り	0.00		1.50	0.50		0.60

※急性呼吸器感染症(ARI)は2025年第15週から定点把握に指定されたため、累計は第15週以降を対象とする。

年齢別内訳

急性呼吸器感染症定点

	報告数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
急性呼吸器感染症 (ARI)	1,851	88		616				451					275	84	61	63	60	49	42	32	30
インフルエンザ	522	0	4	12	18	24	34	41	38	47	30	29	141	30	19	19	17	9	3	4	3
新型コロナウイルス感染症	35	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	3	6	5	3	1	2	10

小児科定点

	報告数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	12	2	2	6	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27	0	0	1	1	0	4	6	4	3	1	4	3	0	0
感染性胃腸炎	46	2	2	7	3	5	6	6	4	3	1	3	4	0	0
水痘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0
突発性発しん	9	0	3	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

全数把握感染症報告数（浜松市）2025 年 11 月 12 日現在

類型	感染症名	第45週	累計
一類感染症	（報告なし）	0	0
二類感染症	結核	0	77
三類感染症	細菌性赤痢	0	1
	腸管出血性大腸菌感染症	1	10
四類感染症	E型肝炎	0	3
	A型肝炎	0	0
	重症熱性血小板減少症候群	0	3
	チクングニア熱	0	0
	つつが虫病	0	0
	デング熱	0	2
	日本紅斑熱	0	2
	レジオネラ症	1	24
五類感染症	アメーバ赤痢	0	3
	ウイルス性肝炎	0	2
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	0	2
	急性弛緩性麻痺	0	0
	急性脳炎	1	11
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	6
	後天性免疫不全症候群	0	6
	ジアルジア症	0	0
	慢性的インフルエンザ菌感染症	0	7
	慢性的髄膜炎菌感染症	0	0
	慢性的肺炎球菌感染症	0	24
	水痘（入院例）	0	6
	梅毒	0	97
	播種性クリプトコックス症	0	2
	破傷風	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0
	百日咳	7	543
	風しん	0	0
	麻疹	0	1

※過去に報告のあった感染症を中心に抜粋

月日	ウィークリー掲載内容	QRコード
12月4日	<p>第2995回 診療協議会 第429回浜松消化器病研究会 ※Zoomウェビナーによる完全WEB 開催 日時：2025年12月4日（木） 19時15分～21時00分 配信会場：アクティシティ浜松 コングレスセンター 54 会議室 ・19：15～症例提示 症例・司会：浜松医療センター 消化器内科 当番・読影：磐田市立総合病院 病理解説：浜松医療センター 病理診断科 ・特別講演 20:00～21:00 講演：公益財団法人 がん研究会有明病院 副院長 消化器センター消化器化学療法科 部長 山口研成 先生 演題：『消化器化学療法の最新の話題 ～大腸癌を中心に～』</p> <p>日本医師会生涯教育制度履修単位 0.5単位【0: 最近のトピックス】 申込：参加希望の方はQRコード・URLよりお申し込みください。</p> <p>Zoomウェビナーによる完全WEB開催 配信コード https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_tu63mjZnSFSSVBwZjX5boQ</p>	
12月11日	<p>第2996回 診療協議会 ※Web講演会 日時：2025年12月11日（木） 19時30分～20時30分</p> <p>座長：浜松医療センター 内分泌・代謝内科 科部長 長山浩士</p> <p>演題：「糖尿病のある人と一緒に考える糖尿病治療」 ～チルゼパチドを届けたい人・タイミング・そして工夫～ 講師：森 博子 先生（森内科医院 副院長）</p> <p>※日本医師会生涯教育制度履修単位 1単位（CC：11：予防と保健）</p> <p>申込：参加希望の方はQRコード・URLよりお申し込みください。</p> <p>https://mt-pharma-jp.zoom.us/webinar/register/WN_el8PCdEbT5-C4JtV4KeVsQ</p> <p>メールにてのお申し込み ①氏名②施設名③職種④医籍番号を明記の上お申し込みください。</p>	
12月18日	<p>○第2997回 診療協議会</p> <p>日時：12月18日（木）19時30分～20時45分</p> <p>【形式】完全WEB形式（ZOOM）</p> <p>【講演Ⅰ座長】聖隷浜松病院 循環器科 医長 高見 浩仁 先生 【講演Ⅰ演者】浜松医療センター 循環器内科 医長 柏木 大輔 先生 【講演Ⅰ演題】『当院における急性冠症候群に対する二次予防／脂質管理の取り組み』</p> <p>【講演Ⅱ座長】聖隷浜松病院 循環器科 主任医長 磯村 大地 先生 【講演Ⅱ演者】埼玉医科大学総合医療センター 心臓内科 教授 重城 健太郎 先生 【講演Ⅱ演題】『動脈硬化の最新ドラッグインターベンション』 【閉会の辞】聖隷三方原病院 循環器科 医長 宮島 佳祐 先生</p> <p>【申し込みURL】https://x.gd/CvkOE</p> <p>共催：浜松市医師会・浜松医療センター・大塚製薬株式会社</p>	
12月25日	生涯教育研修会	

OAS(口腔アレルギー症候群)と原因アレルゲン

OAS(口腔アレルギー症候群)とは・・・

消化される前の口腔粘膜におけるアレルゲンの直接的な接触に伴う接触じんましんで、**果物**などの原因物質が口腔粘膜などに接触することにより、その周辺にかゆみや浮腫などを惹起し、しばしば皮膚、消化管、呼吸器などの全身症状を伴います。



OASは花粉症に合併することが多く、これは花粉中の成分と交差反応性を持つ成分が、食物にも含まれていることによると考えられています。OASでは、共通抗原を持つ**花粉に対するアレルギーが原因**の場合がありますので、原因食物に加え、関連の花粉アレルゲンの検査もお勧めします！

●花粉との共通抗原が報告されている食物

花粉	共通抗原性が報告されている食物	
カバノキ科 (シラカンバ・ ハンノキ など)	バラ科	リンゴ、モモ、洋ナシ、イチゴ 、サクランボ、スモモ、アンズ、ウメ、ビワ
	セリ科	ニンジン、セロリ 、フェネル、クミン、コリアンダー
	ナス科	ジャガイモ、トマト
	その他	キウイ、クルミ、ヘーゼルナッツ、ブラジルナッツ、アーモンド、ココナッツ、ピーナッツ
イネ科 (カモガヤ など)	ナス科	ジャガイモ、トマト
	ウリ科	メロン、スイカ
	その他	オレンジ
ブタクサ	ウリ科	メロン、スイカ 、ズッキーニ、キュウリ
	その他	バナナ
ヨモギ	セリ科	ニンジン、セロリ 、フェネル、クミン、コリアンダー
スギ科	ナス科	トマト

青字はアレルギー吸入パネル16に設定のある項目です。

赤字はアレルギーの測定が可能な項目です。

山本美穂ほか:アレルギー・免疫2002;9(5), 564-570より改変

《検査要項》

セットコード	セット名	セット内容	検体量	保険点数	所要日数
0161	アレルギー食物パネル16	卵白・オボムコイド・ミルク・小麦・大豆・ソバ・ピーナッツ・イクラ・サケ・サバ・エビ・カニ・キウイ・バナナ・クルミ・ゴマ	血清 3.0ml	1430点 (免疫)	2～3日
0162	アレルギー吸入パネル16	ハウスダスト1・ヤケヒョウヒダニ・スギ・ヒノキ・ハンノキ・カモガヤ・ブタクサ・ヨモギ・ガ・ユスリカ・ゴギブリ・ネコ皮膚屑・イヌ皮膚屑・カンジダ・アルテルナリア・アスペルギルス	血清 3.0ml	1430点 (免疫)	2～3日



登録衛生検査所 株式会社メディック
静岡ラボ / 浜松市浜北区都田町11181

TEL 053-489-8830
FAX 053-489-8831

アレルギーセットのご紹介

アレルギー食物パネル16は、
即時型食物アレルギーの原因上位食物をカバーし、
食品表示義務・表示奨励項目にも対応したセットです。
又、近年増加のOAS(口腔アレルギー)の原因といわれる果物も加え、
学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)にも対応します。

アレルギー食物パネル16			
卵白	オボムコイド	ミルク	小麦
大豆	ソバ	ピーナッツ	イクラ
サケ	サバ	エビ	カニ
キウイ	バナナ	クルミ	ゴマ

食品表示義務項目 食品表示奨励項目 食品表示奨励項目につきましては、一部の項目となります。

●即時型食物アレルギーの主な原因食物

順位	0歳	1歳	2～3歳	4～6歳	7～19歳	20歳以上
1	鶏卵 62%	鶏卵 45%	鶏卵 30%	鶏卵 23%	甲殻類 16%	甲殻類 18%
2	乳製品 20%	乳製品 16%	乳製品 20%	乳製品 19%	鶏卵 15%	小麦 15%
3	小麦 7%	小麦 7%	小麦 8%	甲殻類 9%	そば 11%	果物類 13%
4		魚卵 7%	そば 8%	果物類 9%	小麦 10%	魚類 11%
5		魚類 5%	魚卵 5%	ピーナッツ 6%	果物類 9%	そば 7%
小計*	89%	80%	71%	66%	61%	64%

*: 5%以上を占める上位5抗原の小計

今井孝成・海老澤元宏: 食物アレルギーの診療の手引き2008より

原因食物の頻度は、年齢によって大きく異なり、乳幼児期では鶏卵・乳・乳製品が8割を占めますが、学童期になると小麦や甲殻類が増え、成人になると小麦、甲殻類、果物類(キウイ・バナナ・リンゴ・メロン・モモなど)が3大原因食物で全体の5～6割を占めるようになります。

食品表示義務項目

卵 乳 小麦
エビ カニ ソバ
ピーナッツ

食品表示奨励項目

あわび イカ イクラ オレンジ キウイ
牛肉 クルミ サケ サバ 大豆
鶏肉 バナナ 豚肉 まつたけ モモ
ヤマイモ リンゴ ゼラチン

青字はアレルギー食物パネル16に設定のある項目です



世界中の人々の
健康で豊かな生活に貢献する

イノベーションに情熱を。ひとに思いやりを。



第一三共株式会社

発災直後会員の先生にお願いすること

1. 浜松市内で震度 6 弱 が観測されたら市から安否確認システムメールが送られてくるので、回答する
2. 回答を終えたら、医師会から要請メールが来るまで待機（持ち物準備：ベスト・ヘルメット・水・診療に必要なもの・筆記用具等）
3. 要請メールがきたら、必要なものを持って日赤 2 階研修ホールに行く

◎浜名区内（浜北）の救護所は浜松赤十字病院です

＜救護所＞トリアージ 2 名・診療 2 名・処置 2 名

※各地区の救護所は、必要に応じて開設いたします。

※応急救護所のトリアージは START 法で行います。

会員の先生方の診療・処置は緑ブースの患者のみです。

（トリアージで黄・赤タグの患者は浜松赤十字病院内に搬送します）

参集については、安否確認システムの指示に従ってください。

～会員の先生方の回答がたいへん重要になります。

回答へのご協力お願いいたします～